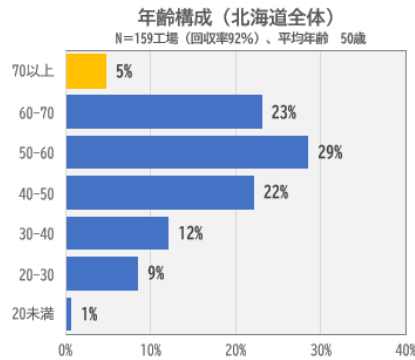
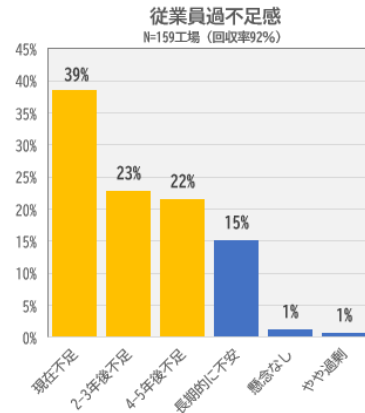


北海道生コンクリート工業組合 現状把握アンケート調査結果について

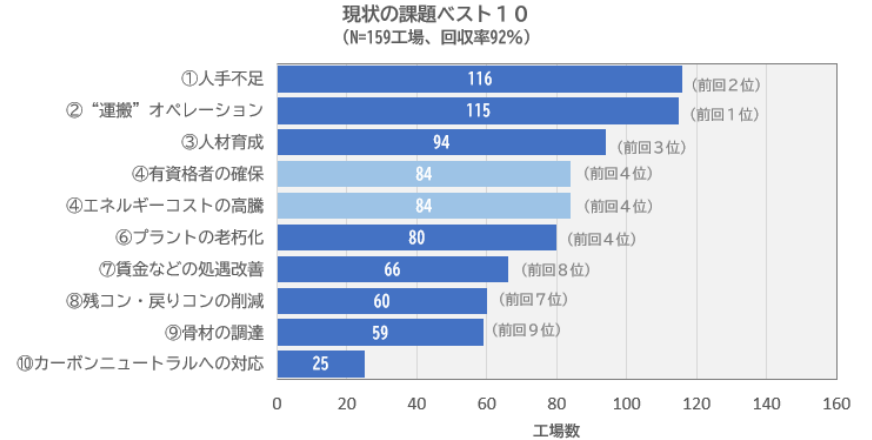
2025年3月実施（工場トップの主観に基づき回答）



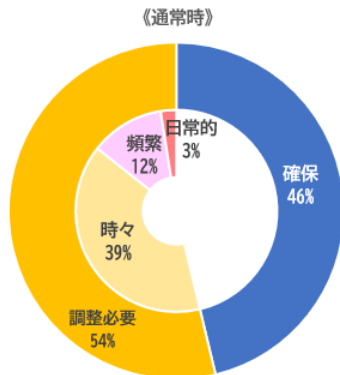
生コン工場従業員の平均年齢は **50歳** で前年と同じ。60歳以上従事者は **28%** で前年（24%）より増加。最も高齢化が進んだ工場の平均年齢は **66歳**（前年65歳）。一方、最も若い工場の平均年齢は **30歳**（前年29歳）。



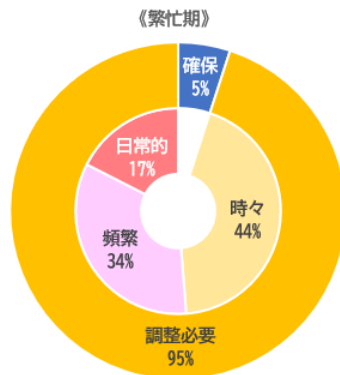
現状において人手不足との回答は **39%** で前年の 45% に比べ減少。一方、2~3年後、4~5年後不足との回答があわせて **45%** で前年の 35% から大きく増加。課題の解決が先送りされていることが伺える。



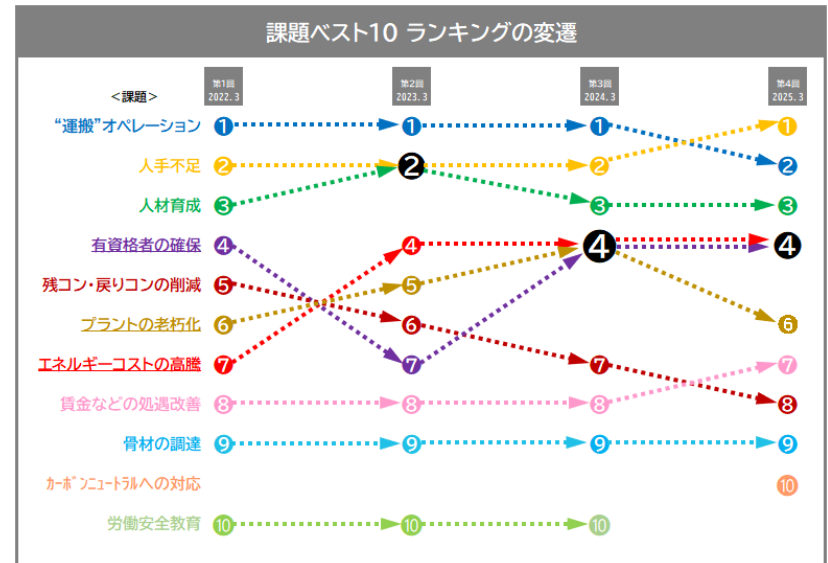
“運搬”オペレーションの現状 (N=159工場、回収率92%)



《通常時》
ミキサー車の確保ができていない工場は全体の **46%** と前年の 36% を上回る状況。生コンの出荷が停滞している影響が伺える。一方、**54%** の工場（前年 64%）はミキサー車不足のため施工業者との調整が必要な状況。

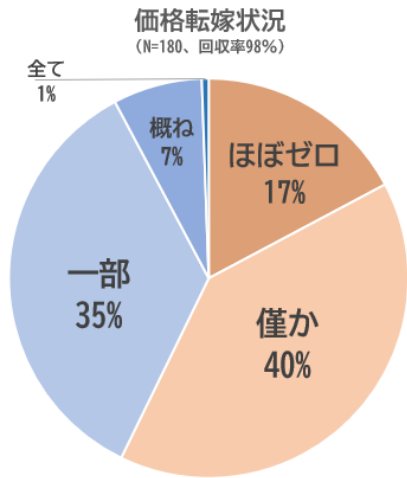


《繁忙期》
ミキサー車の確保ができていない工場は全体の **5%**（前年 4%）のみ。**95%** の工場がミキサー車不足のため施工業者との調整の必要に迫られ、その頻度は **38%** の工場で頻繁化、**18%** の工場ですら日常化。

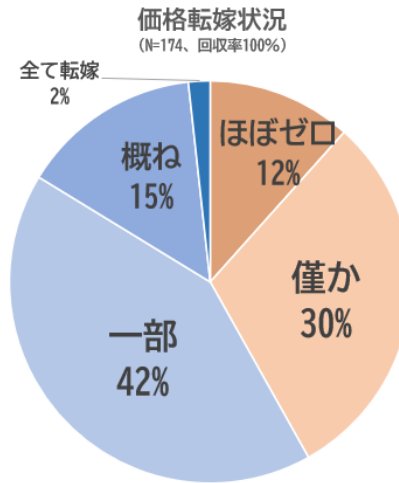


課題は三つのグループに分けられ、上位のベスト3の課題は定番。④～⑦のグループは変動が大きいですが、最近ではエネルギーコストの高騰と有資格者の確保が定位置に。賃金などの処遇改善が順位を上げ、新たにカーボンニュートラルが課題として意識されていることが伺える。

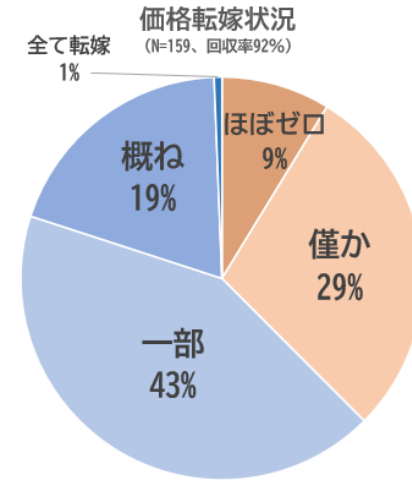
2023.3 調査



2024.3 調査

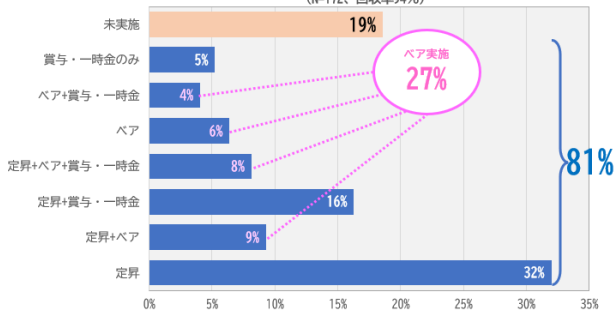


2025.3 調査

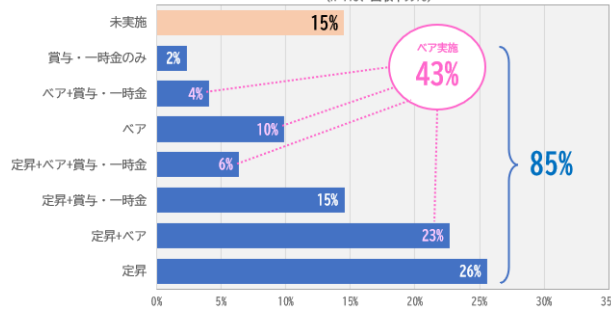


2年前と比較すると改善傾向にあるものの価格転嫁が“ほぼゼロ”と“僅か”が合わせて38%。

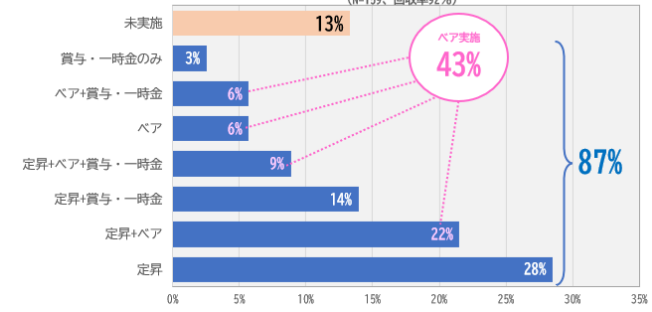
2022年度の賃上げ実施状況
(N=172、回収率94%)



2023年度の賃上げ実施状況
(N=173、回収率99%)



2024年度の賃上げ実施状況
(N=159、回収率92%)



何らかの賃上げがあったとの回答が87%に増加。
この内、ベア、ベアを含む賃上げがあったとする工場が43%あった。

化学物質管理に関する講習会の開催希望(2025年度)

- ① 化学物質管理者講習 (2日) 56工場 (57名以上)
- ② 保護具管理者講習 68工場 (75名以上)